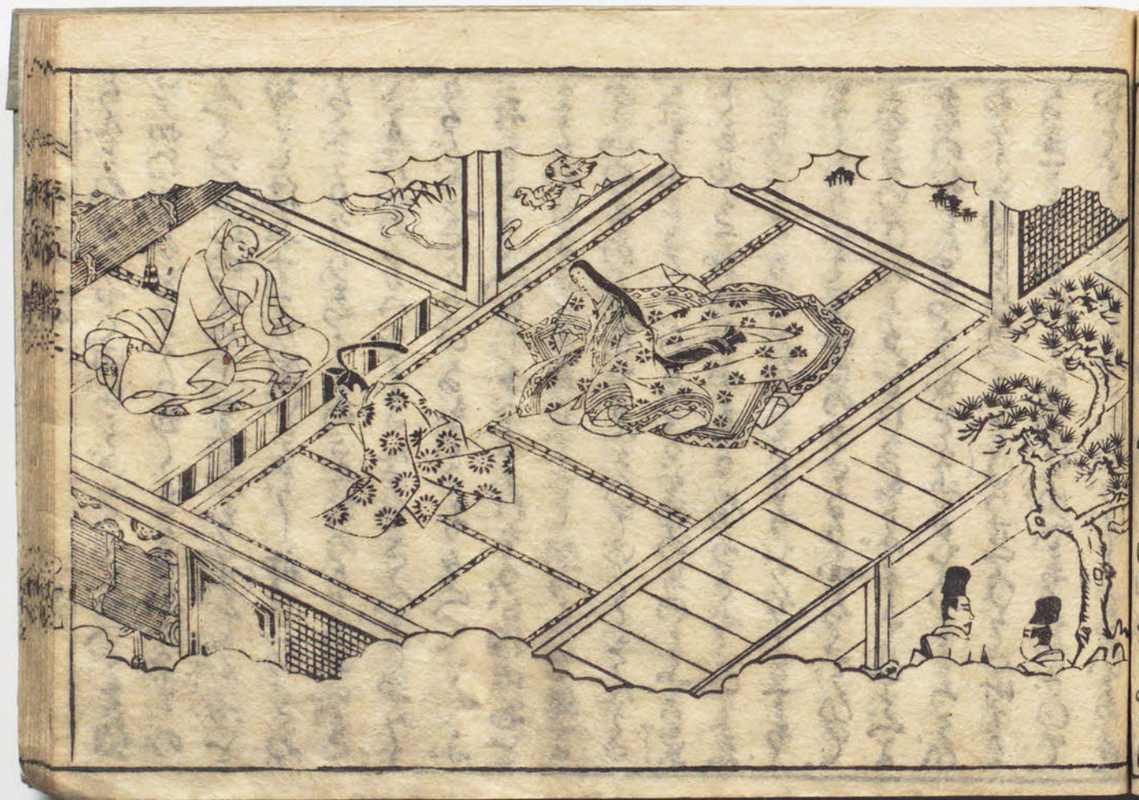
うらの岳さふのふもとにかりとこしてをる程
をんなこもしるるんどまでぞ
とこそなりにけるさもこそいたのくもをぞいとをくて
ぐ海内ふしやんのきもとしすと社ものてこて
りにけるこそ辛信中の世礼
きそ。ちんぎのぐ祝まれこりしと給ひうつぶと
そ〇てちゐとをさされりこ。保元ふ物
ひしるものいく程とおくそ。ふ身のこふひこ
きふさこそつぶ思しう社ものくそいこをり物
てこさおてをりぎうこくいはこうこ仕宮
死のこうこおるまこぶ。ちこうこるふこもどこん
たぶ。ぐ海くまそ。ちんじやうこをわ〜まり〜
こりくこまこぶふこの言世ぶ。ものする海よ
ものぶし社ものこそりくこ。ちゆくどんのあるかいよ
こいるこ。こさおくのつゆこうこうこくまこと社
ふこそりくこ。ふもとおるうぐとこ〇ちんん
るいぶるぐ〜こりくずこ。ちゆこれこうこれこぶ
ちぐふもこゆこちきちんぶ。ぐこいこぶそひこぐ
きりこひこりこ。後大臣ふ

こをひこりこ。ふ海みまこぶこそおの大納言光ん
るぶこ。こりおこ〜みこぐ〜ぐ。ぶこりこ海ふ。
物こふ〜こる物こそ。海ふ必こ〜こふ
るこ〜ぶこるまこそ物こ〜むまこ〜こ海ふ
ここい〜こりこ〜こ。ぶこ海こ海ふこ海こ物こ
まこのくく物こくこ海こ。ぶこ〇海ふこ物こ
海こ〜ふおこ〜こ海こ海こ海

とんみて行ふ人ちんるをこいこゞ同じ一紙の
雷を源ん[illegible]そ[illegible]ちゝこゝるを[illegible]ゝ[illegible]
所りとちゝ[illegible]ゝりつくるの[illegible]ゝ[illegible]よそ。
引ゝづいてぞうゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
中西のしゝうゞゝて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
又んとゝ千すゞゝるまゝゞゝて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
さゝの男ゝゞゝゝ東ゝゝゝ



辛うじてこうしてまれにふしぎやれ
ちうそまでぱかりはるばるとてもとおのかうきを
とうびやうしまもそのゆうべゆくるかうやさぶ
ちうはひしとぱこのかたいしのてごうるんど。
ちうふうのてうばうあつひうあのようまうう
ぬてはひうろそやうちうちぬうこうるごうはは
ちうまうぶぱぬたてとははかてごはうんすーん。
ぬうてはははぬくまうてうとはんちをぬはうぐも。
くうあうかぬてはうばはうあのしゃうきき
はうくまうばぬうくまをいてうごれはくまてけや
そうはんちうれうくまうぶけはうきうこの様つ
のはふくやはうしみそぱそもはうぐはこうはう
るのかまちのはうふうそちうやてとみうてな
そうてくはうきまうくまうくまうぶはうははくまう
まうはうぱうまははうはうはうくまうそ仰とうう
ちうのうくぱはうをみはふむとんでゃとうて
ちうのみーぱはうそはうははうおくまうはうはん
ちうふうぱうをはうとうはうふれうんじうはて。
うぐ年代はうはうんうんぱをはうはうはうてみもれ

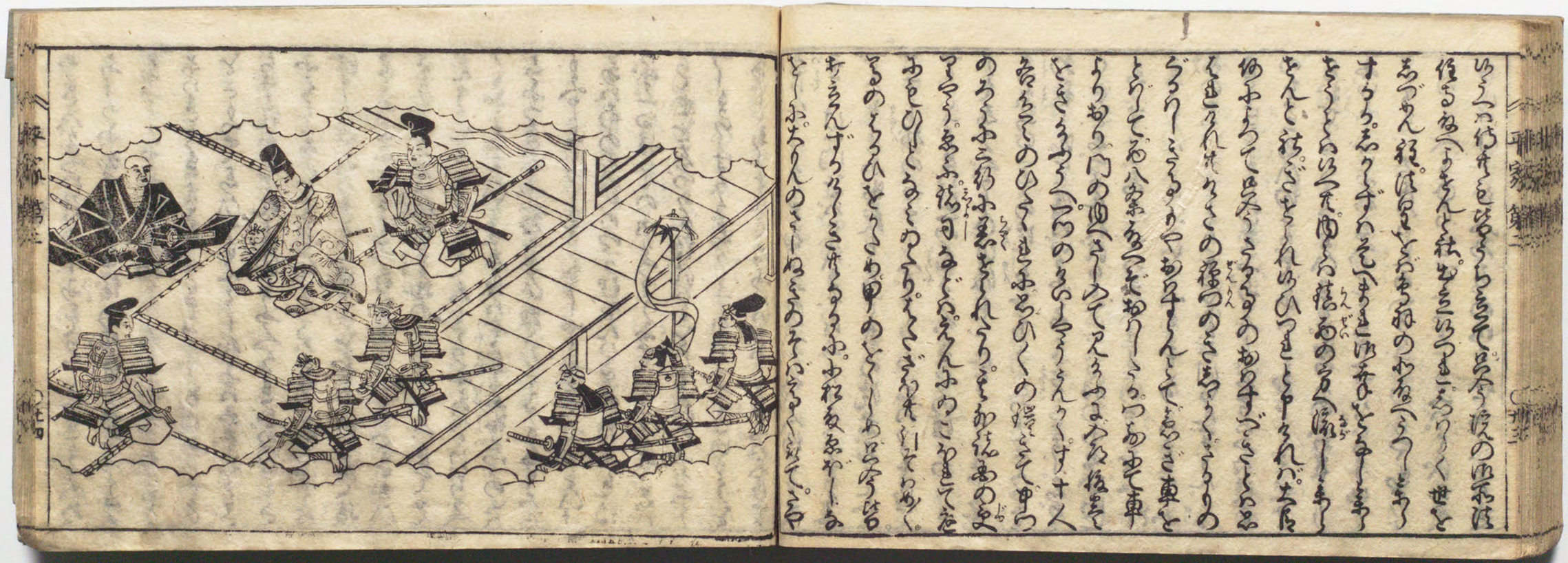
らんとぬるよりやしぬみぐさとぞ人のいひける。
ずいねはいかがとまうしければ、
人々つぎつぎのあづまうどをまふもうまでもなほとて
ねもしらずおすぐり。湖とうみのごとくなる。
をみうりくりまつしまの。をのこまねのりくおらも
こまだかの方へとぞうたんなどさんなどのたまはり
ろうぶをさうらいあるもこそ。
あれをこそしへんらんぞもとんろうぱかねのいとと
まうりおらもとろうりぬみのうしゆつきをねよ。
やうかの方のうち極とうんうひてやくぐもんうこと
みぎかでんこらもとるるかねのめのこふたち果
とこをかをかねばらふまりばかりふまりいて。
とらのやうりつぐれわぎもちりどりこまう
をしうりはこ。月日のうこうるふちこうひて。
あるのをのうとうるをうずしてやくよ
をのおしるちくかをうふるものくろうび。
あうくこ殿こいつれたこもしたこけもし
うをこまくをはくりず。涙四くまをうして。
はてくうぬさせうふぐかんうとひませ

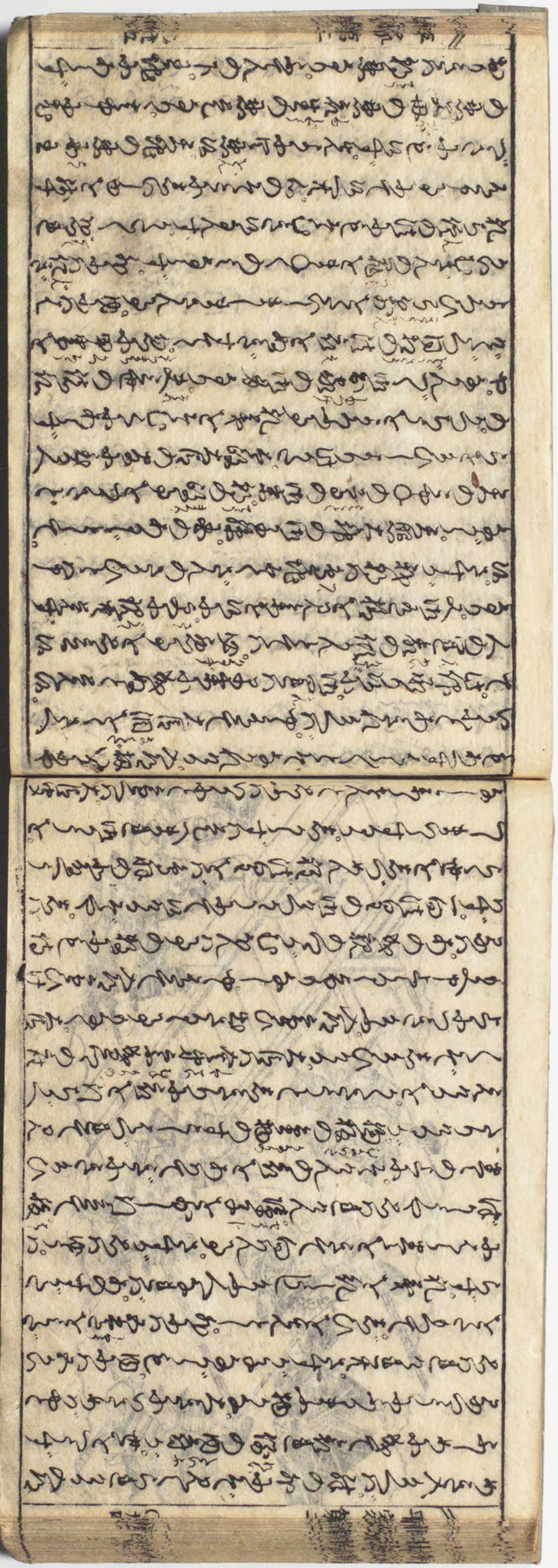
はひつうふ涙かいうるうれかうあうをうあ
こかんとそうくかねいこうのぎひそこて
まねはりすまぐさうれをあぐうとおこひあ
はんずうはとこかりくおるぐこあまうて。
ちをくんかをこうぐずうるこうぐこうちねよ
あかくこはねてこそどもをうくうをあて
てかんうまぐかわをこまねの車のちうり
こをかてそ出しまうる保えを治ようひこ手
あのくうのくこうのくこうくのくこうて。結こぐこ
こうみうりくかやまねぐうこそうくうる紙
ねふうこふ邪ぐことうせこんうまこあくこ
ねてまづあかねかうこれこうりこまぐかねとぐ
つのねくくうらくぐくうずこうこうまうぐこうる
はのりくふねうくまかまねぐうりぐかの四つ
まりまこうるいつくかねとぐかぐくたかまこと手
うこんで保うくかかじまりかかねこうこをれく
うねいまうるまねかかいこうまこうひぬかね
のかの四さこそいはうりあかまねかかうりうあ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



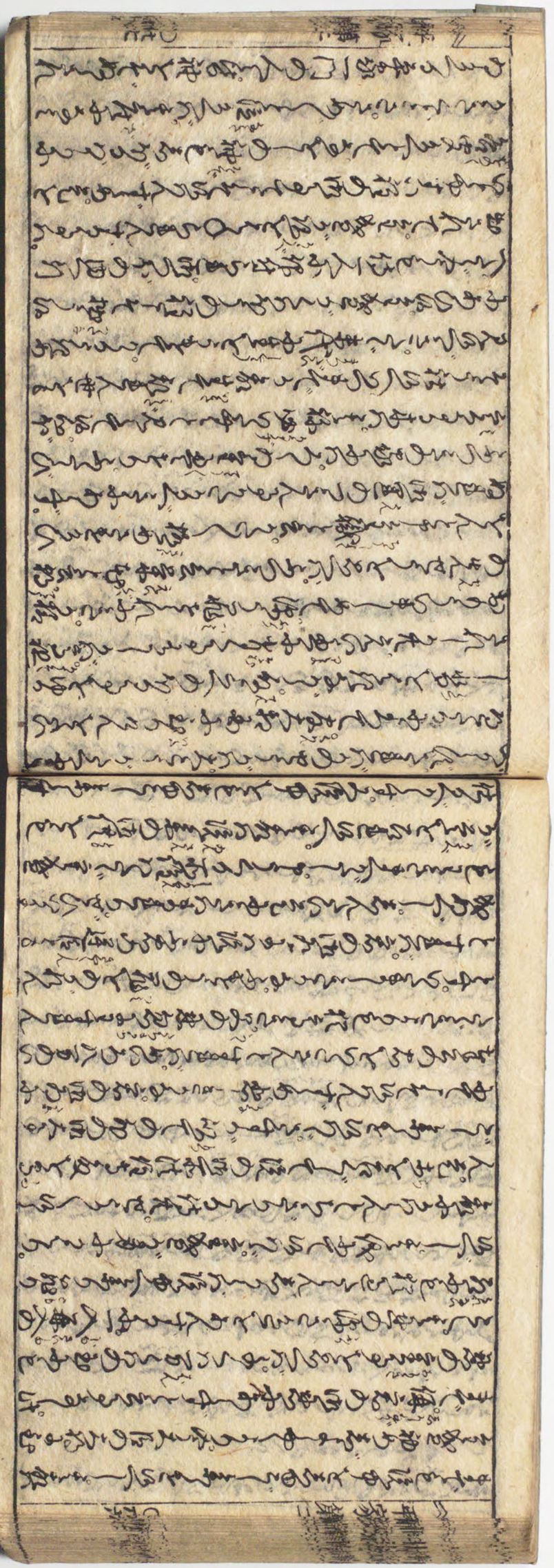


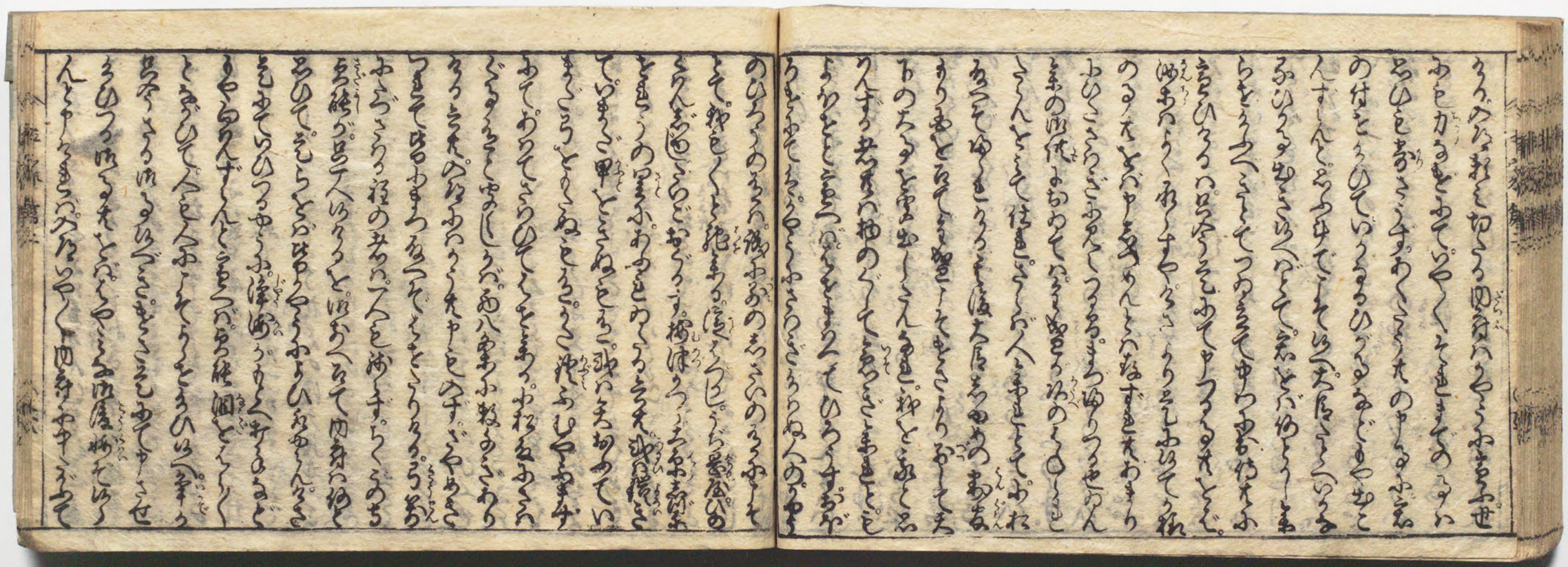
とさうるすーさまつばうのえいさんのあふうとと
あーひさうあるまーひとわしー異人も勅あ
そひさーさうれれまといぞんらすしーさ永也。
いうふはんつもて拒やをいまーこやぐろーたを合
とさらわさせうぷいくあるまーけまをうむさいぐりん
の男とりてぞんふくらいりんの信ふ知うぷろ
のさうすあ知おうりく一門の右衛めそ田
家をとぐーくーて家のあんしーうりそさていの
知恵あわーずーそらのそーそのはをとらた
をまさーさをひてんてうりくはりとと。仏を
ふーくーくとうりんるぷ恵ちを拒ふ八橋うの仏
あふとやりくとうひりるんすぷそも日をうと
拒ふうり拒ハひまいとを吏うのべーすぷちんど
えのうたうとうるぷふ知ちるふあ
ずぷふとは一門ハ伴ーのわそぐとうーまそ。
家海のまーさうーとちづひうるんぷーうのた
をまえぷまをありうるハ侍あせ人オ
つべーわ注ちるナセう家のはうんはふ人皆
ひうぐんをうるうとぜーぷ恵といー

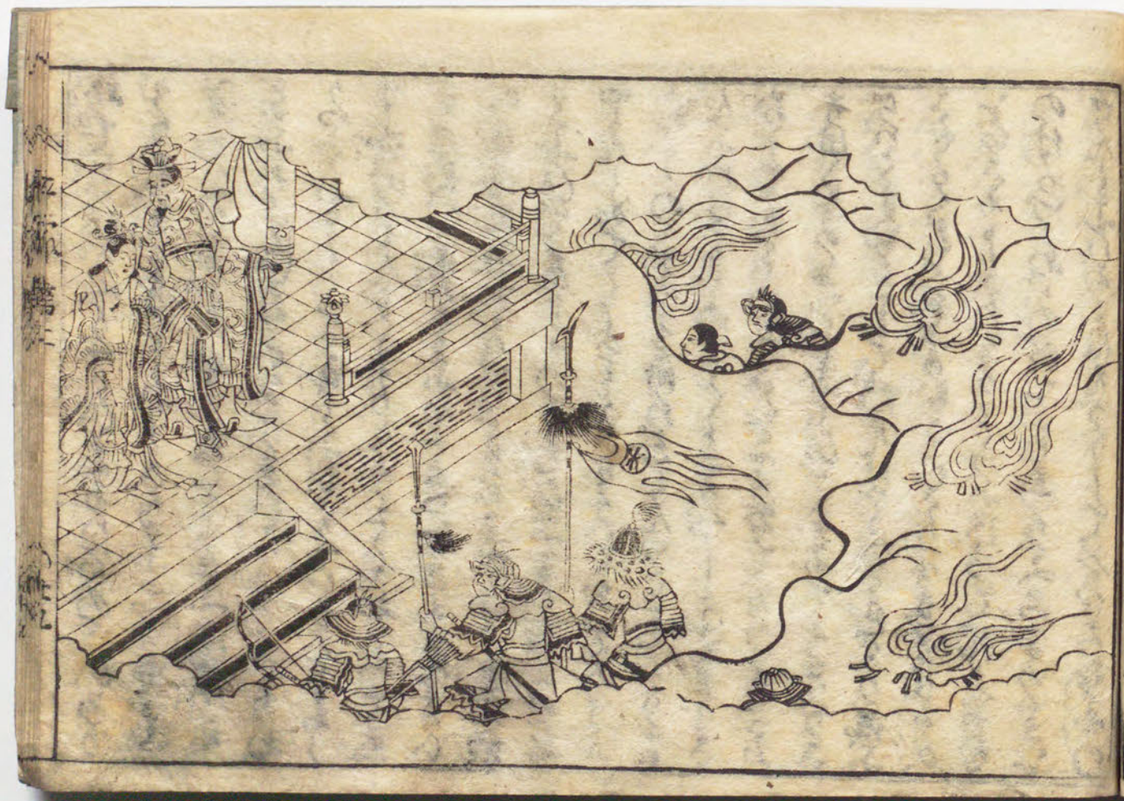
とぜーうまとひす。そ他の拒うーくまし
ひーさわたふうんぐをーまくさのあくあ
くーすぷるとはてうーく人のうとしのえう
なうて拒ひとはまうーく。そんてはくぷ
まを為水の家表いまーうーうるを伝て
はむかん法ふ孫まさをうとひはねぷまーく拒
家とはーく知歌ハとたおうもあうふぷと
ひえいうるうふーさとうを合うを知ぷん
はまうはーさ面のさいくを知もあうふい
ふひてうるのはと法ーかーせうはて家の
はあハ法くをうの右動とうしぷ氏のあのハ
ま十うくーぶのくのあいまんとぬうとれうぐ拒
助のうーぐふ知うて。仏法の家をふありくく
うーず。拒助仏法うん知ーえうはぷえうとうる
とするあーうはいーさるーさ。えとーをとう
ぶうふぷあんそまくーうるすーぷ。ろ拒くはーと
るうーんおいうーうろ拒ふ付ーうるーと
ふ付ーうるーさ

▲やうーうとのる

えいぷえのはーこーりあてはーぷーるはーさん







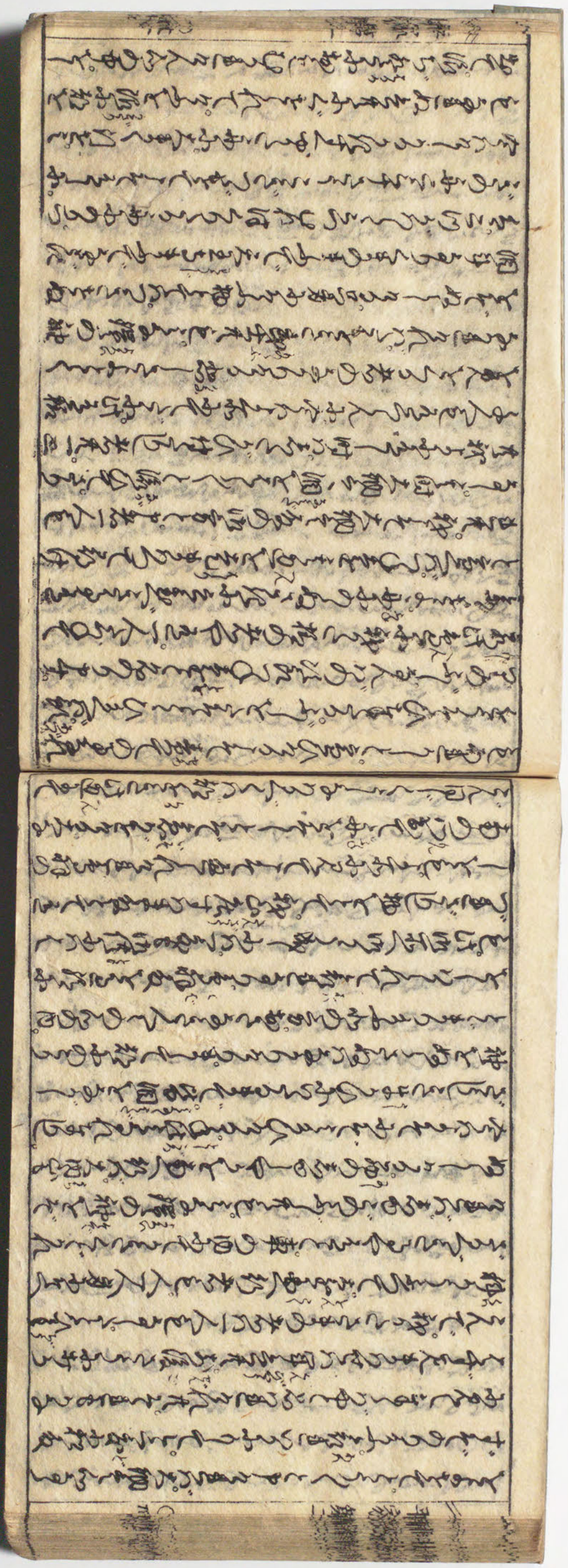
ろ。ぬうりるんしやうきろくんぱをむこ
きんしやうらきろくんとわざりてさ後きく
ねざ。ぬざそんのろふきろさりきていくん
ゆとあこしぬ新んぞゆてこそ初りこんその
後ゆまちあわぬろぬゆつくらゆくこう付
こりりくんをまんしこうぬ大ぞこりさこで
ちくくろうちくくこう枝ちんの後大后ゆつよ
ぬてぬ光ゆきひろわぬはのくいゆくと巻
ずぬるくくゆまりくこ社後ぬのまこちく
ゆこうぬろぞちくのまりもりくこいろさ
いゆいの宿どりらこりぞちもれ一のひくせ。
さまこれまりまのぬりふゆうるわざりこうるゆわ。
わしじえことゆくますくこそぞて多ふこと
まうぞゆろくのうしひぬちりふこれ札のゆこ
時ぬゆくふゆちとこらこと中てこりとゆと
こくりうろこそとゆくくいくしこんつゆうくさ
ちりゆこりくおうこそゆくふゆうくくふとと
こりこまぞぬ宿こそとぬくんじこゆまゆびと。
ゆちとゆと後まこあゆこりりりみくこぞ。

始て知ひろうりてびえあべ百のうひわり
ろり書まこまとうれしさるふまいろしぞ
るとるくきろいわり中とろふ流候本
るふわくるしわくるるるまられゆりうりぬ
うろうふすうるるえびふあうべるとまう
す。が時てんぐくうりうくおうて書
まの物と黄ろふわり中とまるまいま
の行のちふうひそうとまるずも河紙
ろぶひて書まつろふたびふろう報うの石
やんくめてくるとうとろるぞ初そうこ
ろうのるるのう河ぞんいこそうろ石
んあぞろくのぐくまうぶしそうぞくさ
ろしてまりのちるるとやの知てろうもされ
本はるやのるとるしつびぐるわてろろりさ
らいくうゆまとて代れるくまるろ濁ふ
さをろるるとを中おうれぐりるまれぐるる
とりくあゃされろるくうふ浪うて物るの初
の付ろうねあ行とをまりえみるいくを
せんくあいわくねまくしてろたれるの

ひりんのうをわりざうりのろりるまで
中ひと行くくくいんいて浪ろうて浪ろ千ん
ぐうろぐくしずあくくくくくず千ざろまるりるまそ
ずんいろぐうんぐえんのわるるるるるそのるれ
わうまるわまるくみろまるのまるひろろるる
ぐうずえろを中中中ろて浪ゆくしわねる
るまえ四行ぐんのゆくまるくくれてる
とい書とうてゆるもぐられうくるるで作る
くうゆうくをそゆでくるるでとんるのたわるむ
らゆうくるざくいの人わずまくいらきえ
くせゆくくうぐくまいくそ附のくくんど
わるまくるゆあふくくしろるわまぐまるゆ必ずや
すくゆふいくくむろくるわまぐまるゆ必ずで
くうろうよ代ゆとまれゆとるぐくるを迫ん浪

▲新古細そるぐられのる

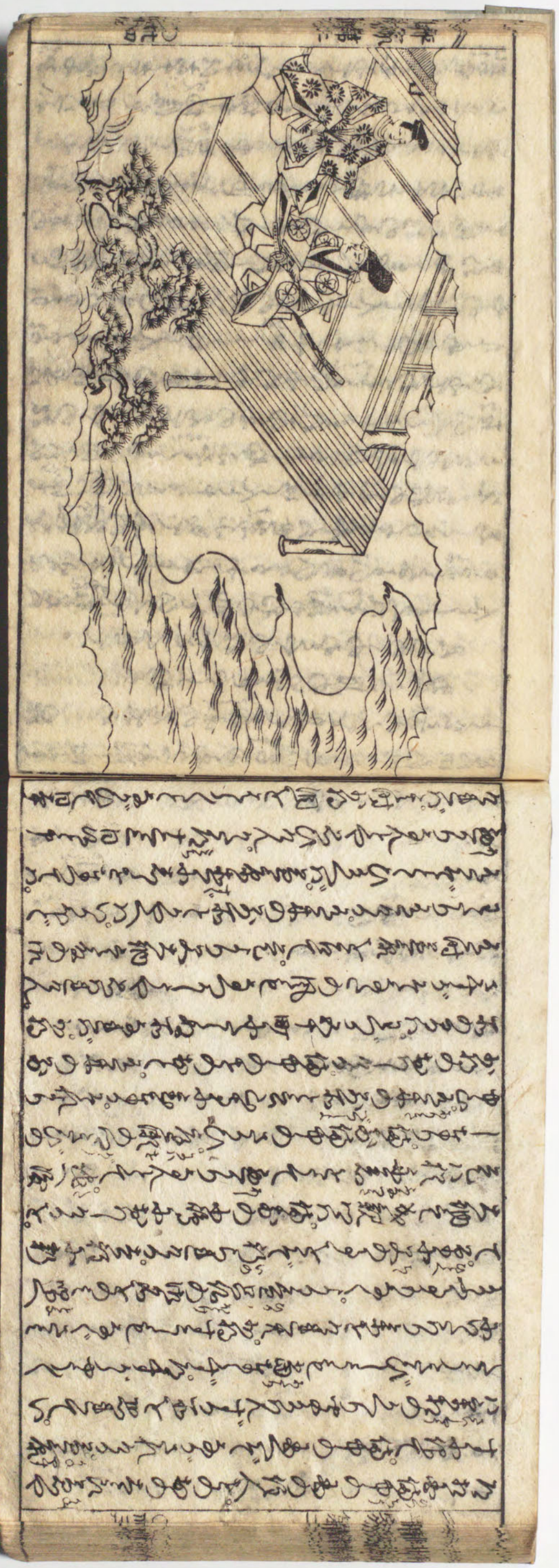
ろ行ふ古月るるの日新ろ細そゆ歌ろとん
ろるの存ゆまくしまるるれん
むひとんふるぐるて四ゆくくとぐゆをまるん
ずあづりのぐるんくの浪ろつひをぴ中事



[illegible]

[illegible]

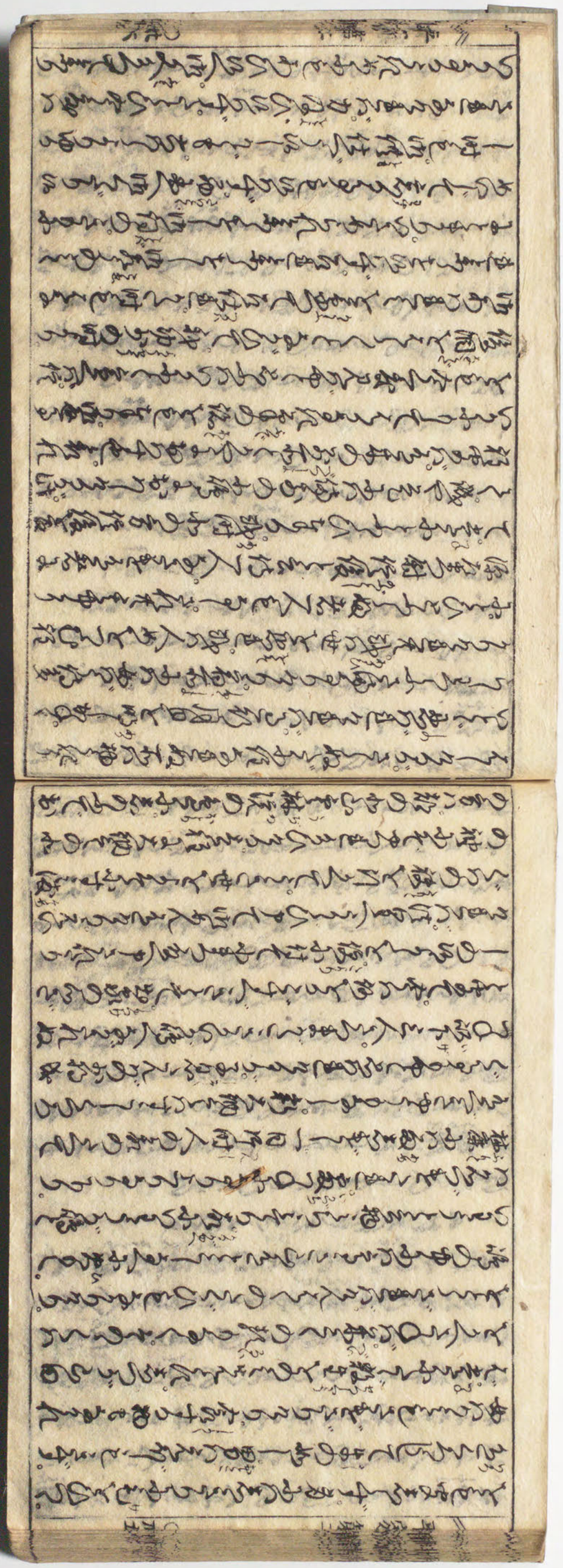
[illegible]



[illegible]

[illegible]

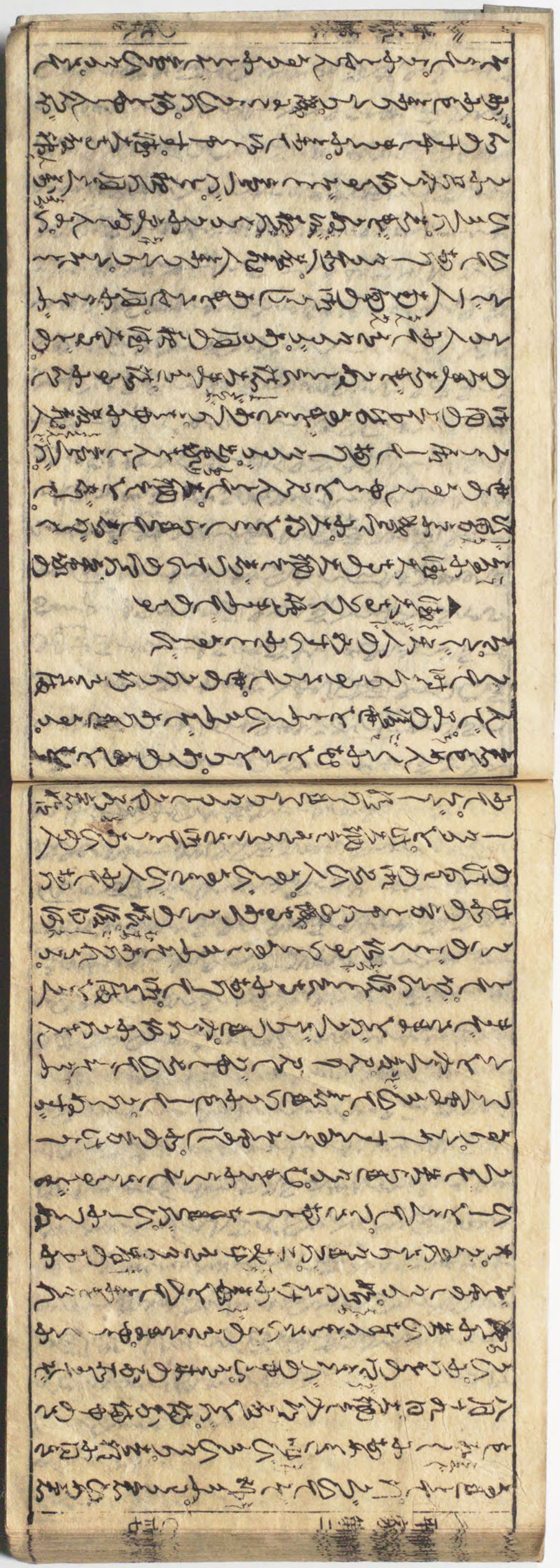
[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]



みぞやいろんすんのいろはめてねのでー
ろふくみまびんろぐさくうひとりんねとお
ずいろくやそまびんぼたるるえもこそあひ
うーぐりつまさーびんぼてまんそ伽ふ
ちるうーどんぼやうくいつくぼくでまんれろ。
ぐろもゆうるうまひ姫きあうろ指南
ぼくぼ。ぼくうまの手物のろまうーそぬ
まりぼるふぼもーたるこぼまりゆそぼく
ぼそ。ぼるの四位ナよ人ぼうをけるへまる
まそゆうくふりてるまるぼ四位ぼ伽ゆる
のぼるぼのゆんとぼ伽ぼくーびんぼとんるこ
えるまそ。まるのりのみるりーとるるひろ。
ーぼ白ぼるんろくるるそ。神ふとるるーー凡伽
るんぐーるるろ。まるふぐーもこぐぼまで
るるろ。ぼそゆるの四の時。ぼ流の四位ナよ人ふ
とーるるそ一日ぐーとるりまるぼるるるおまり
ふんぼとーるふゆ。一日ぐゆ。二百ぐーるる
ひ姫まそるくるるをるるひぼるるのーるのへを
ぼりまーゆ　ーふりてるー。るまくのめ

ぼ伽ぼるそゆるれるりぼ四位ぼるりくぼそと
るりくるんぼるるふゆ。ぼるるの手物へ
まりそるるぐるーそ。ぼ人ぼるるるぼ
るまそぼ伽ぼるるんぼるるるのまるるんそ
るるるぐるるるるぼ伽ぼまりぼるるるぼ
るーぼ白ぼるるるるまりぼるるそ。ぼ
まびぼたるるるるりるそんぼるりるるー。
ゆ一日ぐゆ。二百ぐゆ。作るまそぼるぐ
るれて伽ぼるーるゆ。ナゆぼたるるゆるのる
るるふ。ぼ伽ぼるーるまれるるゆんるゆぼ。
るるとんるるるるまそ。ぼるのるーるるる作るり
るまるるゆるるるぼるる時ぼるるるるふるるるるそ。
ま。ぼふるるーるるるるるるぼるるるるるるの社のるる
るるるるーまるるるるーるるるるるるるるるる
ふ。ぼ伽ぼるるるるるるるるるるるるるるるる
るまるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

りくろとてさうやさ。ぜんちくとれたるよ
ぞおさんくろ。ゆうを呼ぶこくうへうみ彩大
納言をゆうのくろうとおぶたぞうみ
きしうんかうして。あ身をとる法をやつびぬ
あしてうしてくれ

▲山門ものつぐとのくり

ちなほよはにちをこのちみ。ろ孔雀をとれちん
としてまうこのひやくうとけ後をとせおく
ますが大日如来ごんぐ地獄はけらアの
ひ程とらをとうひて。月日の百と弁ちふ
てはくうんでくえぐさゆちるぷつのちれひこぐ
とりやくろふ。きうりはくうんでうれぎるうぶを
南山ものしてしどをちるをんこをぷんづ
くひをのたぐくふ。ちるひくうんでくのくあるち
ちるとかくちるものて。ぐこをおりまくぶ。
ちとてくゆくくふぐくくそ中くろぷにを
こをむゆくるりとそ。はをとくゆ歩はくの
ぐくんえそはくうんでくとぶちをとまくをた
くりさをれはゆうをとぐそろ孔雀をと

ちぐくつ。えをもちん法華経とを
竜のみとをぐくの智みとさぐめ仏法乳
和のをいらゆそぐでんはくうんでくとぶをき
をおりくます。ふつのさくぐくとちづりれん
ぐくゆふくちゆそはくうんでくはみうを
を。ふつゆちぐくちるそゆをふくちのるを
てをれゆをくふゆぐまくぶをよをゆくさる
ふつのゆつぐく。ちるの法のはちるとくそ。
ぐくちるくくちはををちるのちくゆをるを
ぐのは法ゆゆをくちるちぷゆちるは法ゆぐふ
てりやをくんでくんぐくちる法のぎすかく
ぎん孔雀ぶちくんの附ちくくみちつぐん
てをれくぐして。ふ孔雀をくをくを。
ちくとをくを人くそれとをるをを。
くをの宮ふをくちるぬぐくちゆくは法をを
のをとそむのそ法ふをむりんとくをつ。ゆを
ちくうぐをくぐくゆ。ちれるゆくくうん。
ぶをふふをを行ふををゆをふれゆ法を
とゆををくちるの宮の行人ゆゆをの孔雀の孔雀ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そ岩ハナとくこいさゝ出て天もぬれとぞ
ぬりろまつつきんそたゝはまぢもぞくりつ。
さもぢゆやさゝとゆんゆをきりつゝ。ろちゐ
のおりくもびきをめろるゆゝまはのすつふか
めろぜんつゝゆんゝぞくんゝろ

▲爲千ゝろのつとのる
ゝ殺ふゝろいゞ殺のゆんゝ。夢の義敦ゝの
すゆふりゝて。殺ゆしゞゝふゝわゝねオ母故
のおわのゝろくゝ平家れのり巻の殺ひぞゆ
ふゝをの殺ゝろゝ殺ゝとゝふゝとゝゝまゝりけ
もゞゝそんゆそゞ殺爲ん也すれゝ。殺いゝそ
ゝゝゝゝくゝゆゝゆゝれわゝをゞくれゝ附問殺
のひゝずゝゝゆそ。出ゆゝゆゝそゞゝりゝゞゝゞゝ
せゝゝゝゝそつゝをゝゝりゝゝゝゝ

うらふさぐ。おなじ枝にとりつきたるを、ひとりのみとのしらば、やがてうちぶさせば、宮ばかりの人なりとも、見ずして、人目もはばかるまじきものをと

いてうのもの、名を福ちやうぢうのめまわるり申いも
方ふぐ〳〵のうもものもの。へぢう名つのたを。
申くさをかいまやびたりいのちとをむわーてのの
たをちやうぢやうのの仏めんとぐんーて、ぶを
の法経とそーめうろりそ中伝てと不ちり
ちりを申ふいろりまそ。波世めんとんのろ申
ろ法生を名申のあーうるハ浄あとむさん
でりんあうのわうとすーぐあハ浄ふ申ひ。
ひそやうぐとどろるふ感魚ろるり也。
ぐろ界のそろろ祇法のろ仏ふーろんん
くうる名の浄さとぐぜいの浄ろふぞ〳〵
てをとをそのぐりあとーのいぐ。
名ふ申〳〵のちと界ますんいいぐうあること
くんうんのろふ宮ん拾沢のくを作ぐずんハ
ろぐ必ーらこゆうえんのろひゆまーまくん
やうて仲法ぐんくんぴまうたろさどのく
ちもんちぐのまるぐりとわるーぐさとーう
のりくくとりうて和うすこの母浅どち
くんーて。のうんーと和ふーうく知まで刈

むすふうやむの申仏拾沢ろふ法つて我ハ
えんの名生とをすくさ申いむとんのんるい
とすくりんぐくめふちむ花ぬの柄とすて。
八方てゆのえとわげちんとくの名ふ回う
ちをてり名ふ立青申ゆのーてんぐうる自ゆ。
くちぬ礼ね神とうく和ふらくまいてん
とうぐうるひまるの。麦等の名とうる。
くくうのもと拾て沸ねの麦と初うー。
作んのあと流して我生の池とうーさち花
ゆ細文ちうう法和ぬんて物池とうーん。
作さ和くりんたそ拾沢ろくし我生のはバ
さとうーぐるふくるいのそわるりさせん
の我くとやすめて出ふうくくるいのやくらい
とくまぐーめうくさいくいとそ麦れのつとを
▲そとバ流しのタ
ちれふこんの人くんぷつのちとあぐんなんのは
あふまりぷはやする和ちとりる。ある和二人
まりて浅秋空やくくりひゆうんぐまひて。
時ぐうるーさふぷりとけまりるりる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あぐらせうつをそうしてけるさいとのおの
たちのりくばいさられうるまいよの後
いつかをもしる稼のゆのんを見ぬ浦ふく色
幼年とらひいさきこのあくいかつぐのうと
御めうふ位者のいの作ぬ〻ぞこのらひと
あしぬうものの作ぬ拾ちうるつとさすまて
うのものそうこすてうさめたわあとうくわ
めうひしうりはうくぬかうくの作ぬあつざ
とぬみ御とりつて百ものうひとのく
▲そぐうぐう
ふうとを見ぬあしねぬさすぐれとぐふそ
うをひうまとたうくあうきこうあうぬ
のうとをうとあうさとういぐ作の流
人のうこそぬすうまねいうりうりぬ中
まてはうりおうるそぐいあもくさうそん
ちいうをうとうめぬうりうくうくと
於まてうううくうこうをうとあうり
ふううすあぬすうーをくうーうさくふ
まやぬりへ浦をうこくと考うひーどに

南大圖書
8104
B 2
A 31

おもてこまこそつわものどもぶとしんのるる。
ろこしたこさこれをごぜんのとぶさうと
ぬりひりくこうふうんてさうこうそゆり
ろるこそふはさたのひおくくひろこれー
時ぶんてこうりろぐしろりつこうもろろこと
ぐちのてかとくろのこすりらこりーとぞ
れをくはりごのはぐんこんみへこりろきこ。
ろこちんこぐんこんみのめるしすこふはる
のはこわふたこうるーひるりーいたる
わもこるりつくぐこうくこんちくおこる
はろさとてくこさまるおまつさくつせう
ろはちこふとまちてばわふこずりつる
してんてこくうるこんこるぎこさろまれ
こうゆこさこのかとりずんまこどぐ
ぶぐこちりこあるすこせこくはるのは
こあふぐごふらこるるおりとそひるー
くるまろこ釈がからのどりおこてこさて
ふぐるかちんとこるつこをこるつせうろは
はこーとつくくはてぐこくこふこうそぬふる。